

議案第38号

おいらせ町介護保険条例の一部を改正する条例について

おいらせ町介護保険条例（平成18年おいらせ町条例第114号）の一部を改正する条例を別紙のとおり定める。

令和2年6月4日 提出

おいらせ町長 成 田 隆

提案理由

低所得者の介護保険料の軽減対策として、第1段階から第3段階の軽減割合を更に拡大し、低所得者の負担軽減の強化を図るため、また、新型コロナウイルス感染症の影響により、一定程度収入が減少した第1号被保険者の保険料を減免し、負担を軽減するため提案するものである。

おいらせ町介護保険条例の一部を改正する条例

おいらせ町介護保険条例（平成18年おいらせ町条例第114号）の一部を次のように改正する。

第2条第2項第1号中「30, 375円」を「24, 300円」に、同条同項第2号中「47, 790円」を「40, 500円」に、同条同項第3号中「58, 725円」を「56, 700円」に改める。

附則に次の2項を加える。

（新型コロナウイルス感染症による保険料の減免の特例）

16 新型コロナウイルス感染症（新型インフルエンザ等対策特別措置法（平成24年法律第31号）附則第1条の2第1項に規定する新型コロナウイルス感染症をいう。以下同じ。）の影響により収入の減少が見込まれる場合等における令和2年2月1日から令和3年3月31日までの間に納期限（特別徴収の場合にあっては、特別徴収対象年金給付の支払日。以下この項において同じ。）が定められている保険料（第1号被保険者の資格を取得した日から14日以内に法第12条第1項の規定による届出が行われなかったため令和2年2月1日以降に納期限が定められている保険料であって、当該届出が第1号被保険者の資格を取得した日から14日以内に行われていたならば同年2月1日前に納期限が定められるべきものを除く。）の減免については、次の各号のいずれかに該当する者は、第9条第1項に規定する保険料の減免の要件を満たすものとして、同項の規定を適用する。

- （1） 新型コロナウイルス感染症により、第1号被保険者の属する世帯の生計を主として維持する者が死亡し、又は重篤な傷病を負ったこと。
- （2） 新型コロナウイルス感染症の影響により、第1号被保険者の属する世帯の生計を主として維持する者の事業収入、不動産収入、山林収入又は給与収入（以下この号において「事業収入等」という。）の減少が見込まれ、次のア及びイに該当すること。

ア 事業収入等のいずれかの減少額（保険金、損害賠償等により補填されるべき金額があるときは、当該金額を控除した額）が前年の当該事業収入等の額の10分の3以上であること。

イ 減少することが見込まれる事業収入等に係る所得以外の前年の所得の合計額が400万円以下であること。

- 17 前項の場合における第9条第2項の規定の適用については、同項中「提出しなければならない」とあるのは、「提出しなければならない。ただし、町長は、これにより難い事情があると認めるときは、別に申請期限を定めることができる」とする。

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、公布の日から施行し、改正後のおいらせ町介護保険条例第2条の規定は令和2年4月1日から、附則第16項及び第17項の規定は令和2年2月1日から適用する。

（経過措置）

- 2 この条例による改正後のおいらせ町介護保険条例第2条の規定は、令和2年度以降の年度分の保険料から適用し、令和元年度以前の年度分の保険料については、なお従前の例による。